

平成 20 年度

環境局予算要求方針

- 目 次 -

- 1 平成 20 年度環境局予算要求総括表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - 【一般会計】
 - 【特別会計】
- 2 20 年度予算要求にあたっての基本的考え方・・・・・・・・・・・・ 3
- 3 予算要求の重点事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (1) 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街
 - (2) 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街
 - (3) 安全・安心で、人と環境にやさしい街
- 4 事務事業の見直し等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
 - (1) 受益者負担の適正化等

1 平成 20 年度環境局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 19 年度 予 算 額 A	平成 20 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B - A) / A
環境事業部	13,052 (5,538)	15,667 (6,654)	2,615 (1,116)	20.0% (20.2%)
環境総務費	139 (139)	113 (113)	26 (26)	18.7% (18.7%)
ごみ処理費	12,246 (4,895)	14,920 (6,072)	2,674 (1,177)	21.8% (24.0%)
し尿処理費	667 (505)	634 (470)	33 (35)	4.9% (6.9%)
環境都市推進部	1,065 (375)	1,593 (652)	528 (276)	49.6% (73.6%)
みどりの推進部	9,750 (4,689)	9,298 (4,587)	452 (102)	4.6% (2.2%)
公園緑地管理費	3,565 (3,471)	3,541 (3,458)	24 (13)	0.7% (0.4%)
公園緑地整備費	6,185 (1,218)	5,757 (1,129)	428 (88)	6.9% (7.3%)
円山動物園	784 (450)	1,316 (678)	532 (228)	67.9% (50.8%)
合 計	24,650 (11,052)	27,874 (12,571)	3,223 (1,519)	13.1% (13.7%)

()内は一般財源額

この資料中の金額は、各計数ごとの四捨五入で表示しています。したがって、内訳と累計値とは一致しない場合があります。

【特別会計】

駐車場会計

(単位：百万円)

区 分	平成 19 年度 予 算 額 A	平成 20 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B - A) / A
円山公園駐車場 管理費	1 0 4	1 0 4	0	0 . 0 %

2 20年度予算要求にあたっての基本的考え方

大量消費・大量廃棄型経済社会及び都市化による自然環境の消失、並びに化石エネルギーの消費による二酸化炭素の増大と温暖化などの課題に対して、良好な環境を保全し将来の世代に引き継ぐことは、市民一人ひとりの責務であり願いです。

このため本市では、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型都市づくり、及び自然環境と共生する都市づくりを進めるため、環境基本計画に基づき、省資源・省エネルギー、都市内の緑の創出をはじめとした自然環境の保全など、各種施策に取り組んできたところであり、今後とも、より一層市民の皆さんや事業者などと協力し、効果的で重点的な施策に取り組んでいく必要があります。

こうしたことから、環境局では、「第2次札幌新まちづくり計画書(案)」の政策目標の一つであります「安全・安心で、人と環境にやさしい街」の実現に向けて、「水とみどりの保全・育成と創出」と「地球環境問題への対応と循環型社会の構築」を設定し、事業の優先付け・重点化を図り、次のとおり予算要求を行うこととしております。

重点課題

1 水とみどりの保全・育成と創出

みどり豊かな美しい風格ある街並みの実現や清らかな水環境の維持・回復を図るため、市民や企業との協働により、みどりの保全と創出を進めます。また、人間の活動による環境負荷の減少に努め、水辺の保全やせせらぎを回復する取り組みを推進します。

2 地球環境問題への対応と循環型社会の構築

「環境首都・札幌」を宣言し、地球温暖化対策の推進や循環型社会の構築を目指して、新エネルギーの活用やバイオディーゼル燃料の普及促進を通じた温室効果ガスの排出削減に取り組みます。また、市民・事業者・行政が一体となって、ごみの発生抑制、再利用、リサイクルの取り組みや、市民一人ひとりが省資源、省エネルギーのための環境行動を実践するまちづくりを推進します。

3 予算要求の重点事項

(1) 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街

子どもを安心して生き育てることができるまちづくりを目指し、地域で子育て家庭を支えていくため、子育てしやすい環境づくりを展開する。

1 子どもを生き育てやすい環境づくり

53百万円 (0)

注:()内は19年度予算額

ア 福祉と多世代のふれあい公園づくり事業(みどりの推進部)

53百万円【新規】

障がい者施設などの福祉施設や、子育てサロンと隣接する既設公園について、施設利用者と地域住民による整備後の公園の利活用を含めた検討を踏まえて、バリアフリー遊具や乳幼児キッズコーナーなどを整備する。

【達成目標】

バリアフリー公園数(累計) H18:2か所 H22:4か所

乳幼児キッズコーナー数(累計) H18:0か所 H22:10か所

【20年度効果】

1か所(H19:2か所 H20:3か所)

実施設計のみ5か所(H19:0か所 H20:0か所)

(2) 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街

障がいのある人をはじめ、誰もが安心して安全に活動できるように、身近な施設のバリアフリー化を推進する。

1 障がい者の自立支援の促進

4 1 7 百万円 (4 2 4 百万円)

注 : () 内は 19 年度予算額

ア ユニバーサルデザインの公園づくり事業 (みどりの推進部) 4 1 7 百万円

高齢者や障がいのある人など誰もが地域の公園を快適に楽しく利用できるように、水飲台やトイレの車イス対応化、出入口や園路の段差解消、ベンチなどの休憩施設の設置を行う。

【達成目標】 身障者対応トイレの整備率

H18 : 20% H22 : 30%

【20 年度効果】 2 % (H19 : 23% H20 : 25%)

(3) 安全・安心で、人と環境にやさしい街

1 水とみどりの保全・育成と創出

2 , 2 0 6 百万円 (2 , 2 4 6 百万円)

注 : () 内は 19 年度予算額

みどりの保全・育成

3 3 9 百万円

ア 特別緑地保全地区取得 (みどりの推進部)

2 1 9 百万円

特別緑地保全地区として指定した土地のうち買い入れ申し出があったもの取得する。

【達成目標】

都市環境林面積 H18 : 1,665ha H22 : 1,678ha

【20 年度効果】 4 ha (H19 : 1,668ha H20 : 1,672ha)

イ 都市環境緑地取得整備 (みどりの推進部)

1 2 0 百万円

良好な都市生活環境を維持していく上で重要な樹林地を取得し、保全と活用のために必要な整備を行う。

【達成目標】

都市環境林面積 H18 : 1,665ha H22 : 1,678ha

【20年度効果】4ha (H19 : 1,668ha H20 : 1,672ha)

みどりの創出 1,861百万円

ア 北緯43° 花香る北の街づくり事業(みどりの推進部) 62百万円

地域特性に応じた美しい街並みをつくるため、地域が主体となった花壇づくりを推進するほか、市民自ら花苗を育成して植栽する取組みを支援する。

【達成目標】

コミュニティガーデン設置数(累計) H18 : 0か所 H22 : 30か所

【20年度効果】10か所 (H19 : 0か所 H20 : 10か所)

イ さっぽろふるさとの森づくり事業(みどりの推進部) 11百万円

公園予定地などにおける市民植樹祭を実施するほか、市民参加による苗木づくりや樹木の育成活動を行います。

【達成目標】

市民植樹祭での植樹本数(累計) H18 : 56,350本 H22 : 100,350本

【20年度効果】12,600本 (H19 : 67,252本 H20 : 79,852本)

ウ 木立ちを感じる街づくり事業(みどりの推進部) 183百万円

都心部や主要幹線道路において、緑ゆたかな街路樹づくりを実施するほか、地域や家庭での植樹の取組みを支援します。

【達成目標】

一家庭一植樹運動推進事業による植樹本数(累計)

H18 : 19,294本 H22 : 59,300本

【20年度効果】10,000本 (H19 : 29,304本 H20 : 39,304本)

エ 丘珠空港緑地施設造成・用地取得 (みどりの推進部) 1,167百万円

丘珠空港が道内空港網の拠点空港としての機能を十分発揮できるよう、空港周辺の環境整備や、用地の取得を行う。

【達成目標】 緑地整備の推進 H18 : 4.1ha H22 : 10ha

【20年度効果】0ha (H19 : 4.1ha H20 : 4.1ha)

オ 創成川公園整備(みどりの推進部) 22百万円

創成川通アンダーパス連続化事業により創出される河川・緑地空間を、緑と水を活かした空間として整備する。

【達成目標】

都心部における水とみどりの空間 H18：0ha H22：1.9ha

【20年度効果】0ha（H19：0ha H20：0ha）

カ “ひかりの”元気の杜推進事業 415百万円

都心から7kmに位置している、東雁来第2土地区画整理地区内において、サッカー場2面を備えた東雁来公園の整備を進めます。

【達成目標】

公園緑地面積 H18：1.4ha H22：10ha

【20年度効果】2.8ha（H19： H20：2.8ha）

水辺の保全・創出 0.39百万円

ア 水環境計画推進（環境都市推進部） 0.39百万円

水環境保全に関する地域住民の理解促進、活動の活発化を図るため、環境教育リーダー制度と連携しながら、水生生物観察会等への協力を行う。

【達成目標】 地域独自の水環境目標設定数 H18：- H22：3件

【20年度効果】0件（H19：0件 H20：0件）

水とみどりを楽しむ心の醸成 5百万円

ア みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業（みどりの推進部） 3百万円

公園緑地の保全・利活用を一体的に進める市民主体のボランティア活動や公園樹木の落葉のリサイクル活動、情報提供拠点・ネットワークづくりなどへの支援を行う。

【達成目標】

公園緑地ボランティア登録団体数 H18：31団体 H22：50団体

利活用促進のためのイベント等実施数 H18：0回 H22：100回

【20年度効果】6団体（H19：31団体 H20：37団体）

30回（H19：0回 H20：30回）

イ 都市林等整備（みどりの推進部） 2百万円

良好な樹林地の保全と市民へのレクリエーションの場の提供を目的に、市民の

森や自然歩道を整備する。

【達成目標】

公園緑地ボランティア登録団体数 H18：31 団体 H22：50 団体

利活用促進のためのイベント等実施数 H18：0 回 H22：100 回

【20 年度効果】6 団体（H19：31 団体 H20：37 団体）

30 回（H19：0 回 H20：30 回）

2 地球環境問題への対応と循環型社会の構築

2,544 百万円（248 百万円）

注：（ ）内は 19 年度予算額

環境行動を実践する人と街づくり 753 百万円

ア 「環境首都・札幌」宣言事業（環境都市推進部） 16 百万円

地球温暖化対策への市の姿勢や先進的取り組みを強くアピールするため、「環境首都・札幌」宣言を行い、「さっぽろ地球環境憲章」などを策定して世界に向けて発信するほか、「エネルギー戦略会議」により本市のエネルギー戦略を構築する。

【達成目標】「さっぽろ地球環境憲章」の策定 H18：- H20：策定

【20 年度効果】策定（H19：- H20：策定）

イ CO2 削減普及推進事業（環境都市推進部） 52 百万円

具体的な二酸化炭素排出削減を実現するため、市民・事業者の自主的な環境行動の定着を図る各種の普及啓発活動を推進する。

【達成目標】

エコライフ行動レポートの集計に基づき試算される CO₂ 排出削減量

H18：- H22：4 万 t

【20 年度効果】1.3 万 t（H19：0.4 万 t - H20：1.7 万 t）

ウ 環境教育基本方針推進（環境都市推進部） 2 百万円

環境に配慮した行動を自発的・継続的に行う人を育てるため、「地球環境問題」をテーマとして子どもへの環境教育の具体的な手引きとなる教員向けの実践プログラムなどを策定する。

【達成目標】 学校におけるエコライフ行動レポートの提出枚数（累計）

H18： - H22： 54 万枚

【20 年度効果】 13.5 万枚（H19： 13.5 万枚 - H20： 27 万枚）

エ 環境配慮型事業者支援事業（環境都市推進部） 2 百万円

事業者のさまざまな環境配慮行動を比較し、評価できる基準を構築し、事業者
にインセンティブを付与するとともに、市民に対して環境配慮事業者を広く周知
する事業を展開する。

【達成目標】 環境配慮型事業者への支援プラン策定

H18： - H20： 策定

【20 年度効果】 支援プラン策定（H19： - H20： 策定）

オ 北海道の野生動物復元事業（円山動物園） 5 1 9 百万円

希少動物であるオオワシ、シマフクロウを繁殖し、鷹匠技術を活用して
園内で飛行訓練を行い自然界へ放鳥させる。

【達成目標】

オオワシ、シマフクロウの繁殖数 H18： - H22： 3 羽

オオワシ、シマフクロウの放鳥数 H18： - H22： 3 羽

【20 年度効果】 0 羽（H19： - H20： - ）

カ 円山動物園リニューアル事業（円山動物園） 1 6 2 百万円

動物園内の各種施設のリニューアルについて、平成 19 年度内に策定する基本計画
に基づき、順次実施する。

【達成目標】 基本計画の策定 H18： - H19： 策定

省エネルギー、新エネルギーの普及促進 6 1 7 百万円

ア 建築物環境配慮事業（環境都市推進部） 1 1 百万円

大規模建築物の総合的環境性能評価に関する届出（平成 19 年 11 月施行）
の運用を開始する。評価結果等を市のホームページで公表する制度であり、
“環境に配慮した建築物”の推進を目指す。

【達成目標】 建築物環境配慮制度に基づく総合環境性能評価の提出件数
（累計） H18： - H22： 300 件（累計）

【20 年度効果】 80 件（H19： 20 件 H20： 100 件）

イ 都市再生ポイントネットワーク構築事業費補助事業（環境都市推進部）

3 1 8 百万円

札幌駅前通地下歩行空間整備事業と連携して熱供給事業者が実施する

「熱供給導管ピット整備事業」に関する支援を行う。

【達成目標】 札幌駅前通熱供給導管ピット整備

H18：事業着手 H22：完成

ウ 風力発電事業推進（環境都市推進部） 1百万円

事業者が実施する現地詳細調査を基に事業実施内容を検討する。

【達成目標】 事業主体となる事業者の選定 H18：- H19：選定

エ 下水熱有効利用モデル事業（環境都市推進部） 1百万円

下水処理水の排熱利用について事業可能性を調査検討するため、西区民・保健センターにおいてヒートポンプを用いた下水処理水排熱の暖房利用の実証試験を実施し、データ収集、効果の検証を行う。

【達成目標】 西区民・保健センターにおける二酸化炭素排出削減量

H18：- H22：システム導入前に比べ50t削減

オ 太陽光発電等設置モデル事業（環境都市推進部） 1.8百万円

環境教育への活用や、市民への新エネルギー導入促進を目的として、普及啓発効果の高い小学校へ太陽光発電設備を導入する。

【達成目標】

学校への新エネルギー設備導入件数 H18：7件 H22：10件

【20年度効果】 1件（H19：8件 H20：9件）

カ 札幌市次世代エネルギーパーク整備事業（環境都市推進部） 1.0百万円

新エネルギーの普及啓発活動及び環境教育の拠点として、次世代エネルギーパークの整備を行う。平成20年度は、整備に向けた基本設計を行う。

【達成目標】 構想を受けた整備計画の策定 H18：- H20：策定

キ メガワットソーラー共同利用モデル検討事業（環境都市推進部）

5百万円

市内に1000kW級の太陽光発電施設（メガワットソーラー）を建設し、市や市民・事業者が共同で事業を行うモデル事業について調査・検討を行う。

【達成目標】 1000kW規模の太陽光発電所の設置

H18：- H22：1施設

【20年度効果】 0施設（H19：0施設 H20：0施設）

ク 札幌・エネルギーecoプロジェクト（環境都市推進部）

2.47百万円【新規】

二酸化炭素排出削減に向け、市民の新エネルギー・省エネルギー機器の導入を強力に支援するため、市・エネルギー事業者・金融機関で共同プロジェクトを発足し、新たな融資・補助制度を創設する。

【達成目標】 新エネルギー設備等の新規融資額

H18： - H22： 10億円

【20年度効果】 10億円（H19：0億円 H20：10億円）

ケ エネルギー対策体系化事業（環境都市推進部）

7百万円

公共施設への省エネ・新エネ導入指針に基づき、率先導入と効果の検証を行い、広く情報提供することで、技術の普及や理解を図る。

【達成目標】 指針に基づく省エネ・新エネ導入検討施設数

H18： - H22： 4か所

【20年度効果】 1か所（H19：0か所 H20：1か所）

みんなで進めるごみ減量、リサイクル 1,173百万円

ア スリムシティさっぽろ計画推進（環境事業部） 4百万円【新規】

「スリムシティさっぽろ計画」に掲げた目標の確実な達成に向けて、同計画を広く周知するとともに、事業の進行状況などを、外部組織によって、点検・評価する。

イ 地区リサイクルセンター設置事業（環境事業部） 578百万円【新規】

古紙や廃食油に加え、生ごみや草木類などさまざまな資源物のリサイクルを進めるため、市民がさまざまな資源物を無料で持ち込むことができる総合的な受け入れ施設として「地区リサイクルセンター」を設置する。

ウ 家庭用廃食油資源化促進事業（環境事業部） 4百万円【新規】

家庭から排出される使用済食用油（廃食油）のバイオディーゼル燃料への資源化促進に向けて、回収拠点を増やすため、回収ボックスを設置するスーパーマーケットやレストランなどへ支援を行う。

【達成目標】

廃食油回収拠点数 H18：43か所 H22：200か所

廃食油回収量 H18：1,200 /月 H22：7,000 /月

【20年度効果】 40か所（H19：80か所 H20：120か所）

1,300 /月（H19：2,500 /月 H20：3,800 /月）

エ ごみ減量アクションプログラム支援事業（環境事業部） 17百万円

市民・事業者・行政の三者で構成する「さっぽろスリムネット」によるごみ減量実践活動への支援を行うとともに、ごみ減量実践者の拡大に向けた取り組みを行う。

【達成目標】

「さっぽろスリムネット」によるごみ減量実践活動への参加者数

H18：10,000人 H22：20,000人

【20年度効果】 2,500人（H19：10,000人 H20：12,500人）

オ 定山溪生ごみ堆肥化推進事業（環境事業部） 37百万円

定山溪地区でのホテルなどから排出される生ごみの堆肥化からこれを使って生産した農産物の活用に至る地域内循環と地域振興に向けた「バイオマスタウン構想」の策定や、生ごみ堆肥活用拡大のための調査を行う。

【達成目標】

参加事業者の生ごみ分別量 H18：1.6t/日 H22：3.2t/日

【20年度効果】 0t/日（H19：1.6t/日 H20：1.6t/日）

カ 新たな普及啓発拠点の整備（環境事業部） 142百万円【新規】

リサイクル品として収集した家具などを展示販売して市民へ販売し、リサイクルの普及啓発を行う「リユース広場」を厚別清掃工場跡地に新設する。

【達成目標】

リユース広場で市民に提供した家具等の個数

H18：965個 H22：1,200個

【20年度効果】 118個（H19：962個 H20：1,080個）

キ 事業ごみ分別・リサイクル総合対策事業（環境事業部）36百万円

現在、大規模事業所に義務づけているごみ減量・処理報告書の提出について、中規模事業所まで拡大することにより、「紙ごみ」「生ごみ」の減量・リサイクル指導の推進体制を強化する。

事業ごみに多く含まれている紙・プラスチック類及び焼却処理されている草木類のリサイクルを進めるために、清掃工場からの排除に対応した新たなごみ処理ルートを構築する。

清掃工場で焼却する事業ごみの削減のため、平成21年度から予定される資源化可能物（紙ごみ・木くず）の受入れ中止等をふまえ、事業者が排出段階でごみ分別・リサイクルを推進するよう啓発・指導する。

【達成目標】 排出状況調査 H18： - H20：実施

ク 焼却灰リサイクル可能性調査（環境事業部） 3百万円【新規】

焼却灰をセメント原料として活用を目指した調査を行う。

【達成目標】 H18： - H22：実施

ケ 資源回収実施団体奨励金（環境事業部） 89百万円【レベルアップ】

集団資源回収は、古紙の資源化を図るうえで最も重要な制度であり、市民に対して、集団資源回収の日時・実施方法などの情報を広く提供していく。

コ ごみステーション管理支援事業（環境事業部） 139百万円

市内約 32,000 箇所のごみステーションの管理の支援を以下のとおり実施する。

- ・ ごみステーション管理機材の購入助成を行う。
- ・ ごみステーション排出ルールの指導體制の整備を進める。
- ・ 共同住宅対策として、ごみステーション設置・管理等に係る制度変更とオーナー・管理会社への分別指導に関する周知を行う。また、共同住宅の排出状況の台帳を整備するためのシステム改修を行う。

サ その他スリムシティさっぽろ計画関連事業（環境事業部）

125百万円

4 事務事業の見直し等

(1) 事務事業の見直し

内部効率

一般事務費の節減 <見直し額 103 百万円>

施設運営管理業務の契約方法の見直しによる経費節減等
<見直し額 34 百万円>

(2) 受益者負担の適正化等

手数料等の見直し

ごみ処分手数料 <見直し額 261 百万円>

埋立処分手数料 (14,000 円 / t 17,000 円 / t)

焼却処分手数料 (13,000 円 / t 17,000 円 / t)

資源化処分手数料 (9,000 円 / t 11,000 円 / t)

し尿処理手数料 (210 円 / 27 240 円 / 27) <見直し額 20 百万円>

R D F 売却価格 (1,150 円 / t 1,500 円 / t) <見直し額 8 百万円>